

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成30年度)

調査表

施設名	宮崎港マリーナ施設・宮崎県サンビーチーツ業
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指 標	H30	H29	H28	増減理由等
年間利用者数(人)	249,900	276,800	277,200	利用者数について、H29まで開催されていた大型イベントが開催されなかったことや海水浴期間中の天候不良の要因により施設利用者が減少している。
海水浴期間のサンビーチーツ業利用者数(人)	35,300	49,600	36,600	
コメント	「ビーチバーガーハウス」の営業や「サンドフラワーフェスタ」の開催等の臨海公園ならではの事業を展開し、利用者増の取組みを行っているが、年間を通じて更なる利用促進に向けた取組みを検討していく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	H30	H29	H28	支 出	H30	H29	H28
指定管理料	97,901	101,432	89,392	人件費	62,118	62,323	47,003
自主事業収入	3,500	3,573	16,610	需用費	33,695	32,171	8,456
利用促進事業	52,805	45,924		役務費	2,591	3,640	1,343
				委託料	19,333	20,724	16,191
				使用料等	20,231	11,661	7,575
				一般管理費	11,492	19,693	8,939
				自主事業支出	3,139	3,309	19,412
合 計(①)	154,206	150,929	106,002	合 計(②)	152,599	153,521	108,919
収支差額(①-②)	1,607	-2,592	-2,917				
コメント	臨海公園と阿波岐原森林公園の業務を効率的に行うためにパトロールと清掃を同時に行ったり、大型機械を導入することにより人件費を抑えることに取り組むほか、施設の修繕を可能な範囲で直営で行うなど、経費の縮減に取り組んでいる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成30年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃(毎日実施)
	保守・点検 クレーン・クルーザープル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警 備 夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修 繕 トイレ修繕、ビーチ管理棟・シャワー等修繕、照明施設修繕、空調機修繕、ステンレス柵更新等
	備品等管理 備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策 パトロールの実施(毎日)、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、マリーナ航路情報の周知、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
	そ の 他 釣り禁止区域への侵入者や夜間の不審者への指導と警察への速やかな通報の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備 施設の年中無休化・開園時間延長の継続、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、マリーナ利用者への「利用者の手引き」の配布
	イベント等ソフト面充実 マリーナ・ビーチにおける自主事業の実施(海フェスタ、親子つり大会、ビーチクリーン活動、ディンギーヨット体験会、サンドフラワーフェスタ、ビーチヨガ教室、地引網体験会等)の実施、大型イベント(ビッグフリーマーケット)の開催
	施設設備等ハード面充実 無料休憩施設の開設、通年営業、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	そ の 他
管理運営体制	利用者へ安心で安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。
コメント	上下架クレーンの操作・運行の適切な実施、津波避難訓練の実施、夜間常駐警備の充実、マリーナ航路情報の周知など維持管理業務に努めている。サービス面においても開園時間延長の継続や無料休憩施設の通年営業によるサービス提供を継続的にやっている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(公園ポスト、イベント時のアンケート、意見延べ457件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設の維持・修繕・故障に関する要望	順次補修等を実施。
イベントや施設の充実に関する要望	対応策について関係者と検討中。

5 総合評価

評価コメント	優れたロケーションを最大限活かした臨海公園ならではのイベントの実施や利用促進企画事業として「ビーチバーガーハウス」の営業や「サンドフラワーフェスタ」の開催等の事業を展開し、新たな客層(女性やファミリー層)を呼び込む取組みを行った。常に新しい情報やイベント案内等をホームページにアップし、積極的かつ効果的な情報発信に努めている。また、海水浴シーズンにおいては、ビーチにおける的確な人員配置を行い、未然に事故発生を防止したり、津波避難訓練、溺者救助訓練等を行うなど利用者の安全確保に努めており、適切な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	幅広い年齢層に向けたイベントの実施や冬期の利用者が少ない課題があることから年間を通じたイベントの実施・充実を図り、利用促進に繋げていく必要がある。